

3. 潜在対象者調査

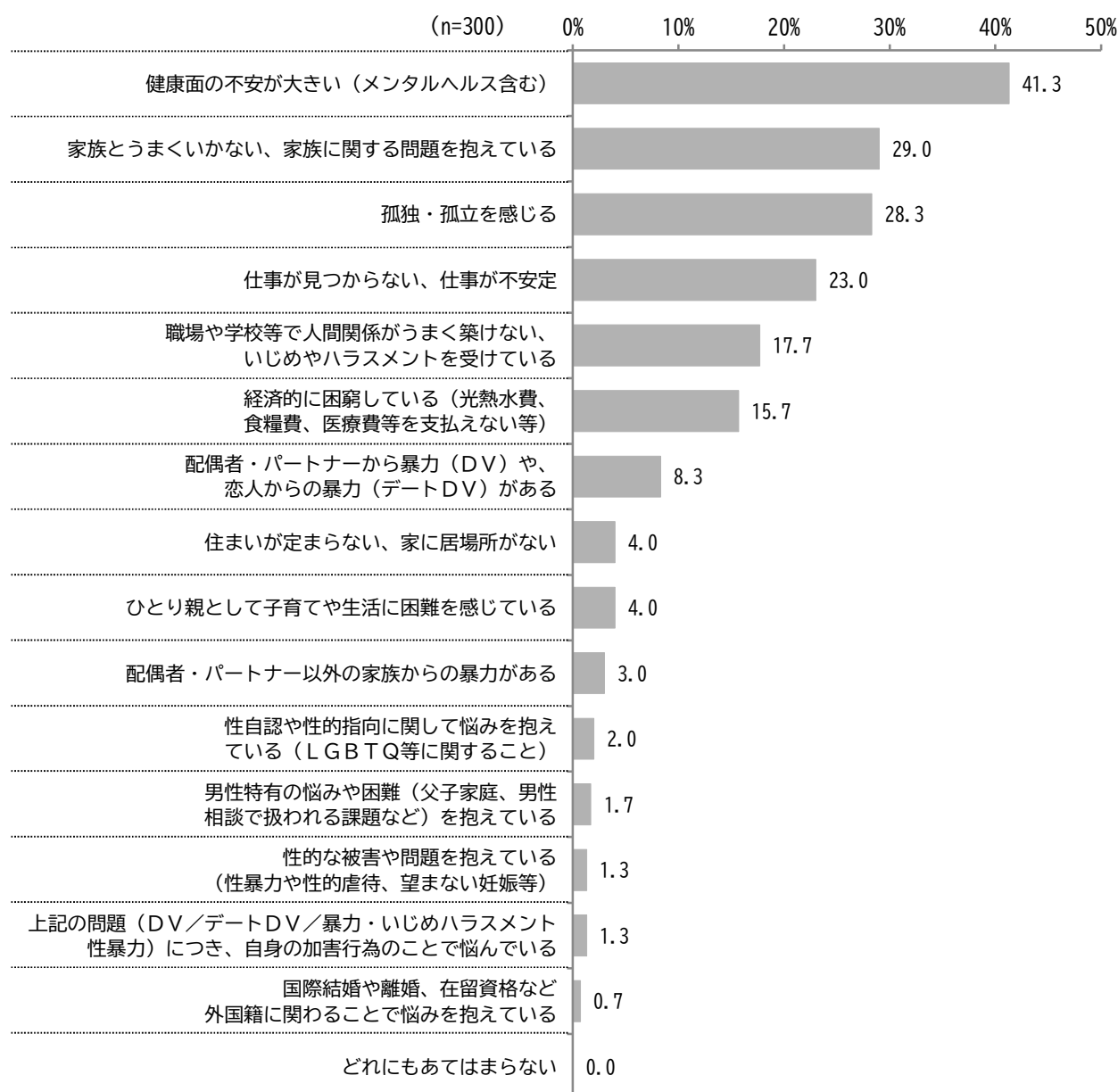
① スクリーニング調査結果

本調査の対象者を適切に抽出するため、沖縄県内在住であること、ならびに過去を含め本調査で想定する困りごとや悩みを経験したことがある方を条件としたスクリーニング調査を実施した。

その結果、調査対象として抽出された 300 人のスクリーニング調査の回答結果は、以下のとおり。

あなたはこれまでに、次のようなことで困ったり、悩みを抱えたことはありますか。(いくつでも)

図表 1 困りごと・悩み

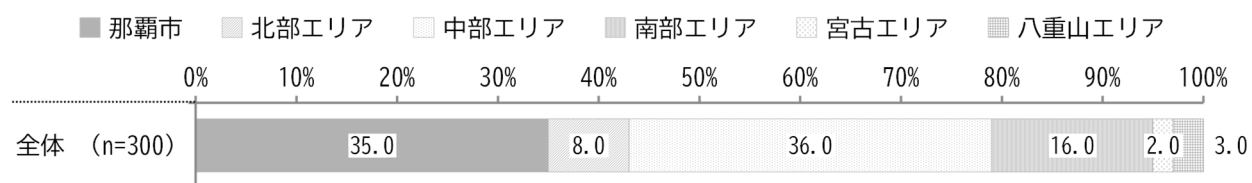


- 全体では、「健康面の不安が大きい(メンタルヘルス含む)」が 41.3%で最も多く、次いで「家族とうまくいかない、家族に関する問題を抱えている」が 29.0%、「孤独・孤立を感じる」が 28.3%となっている。

(1) 居住地域

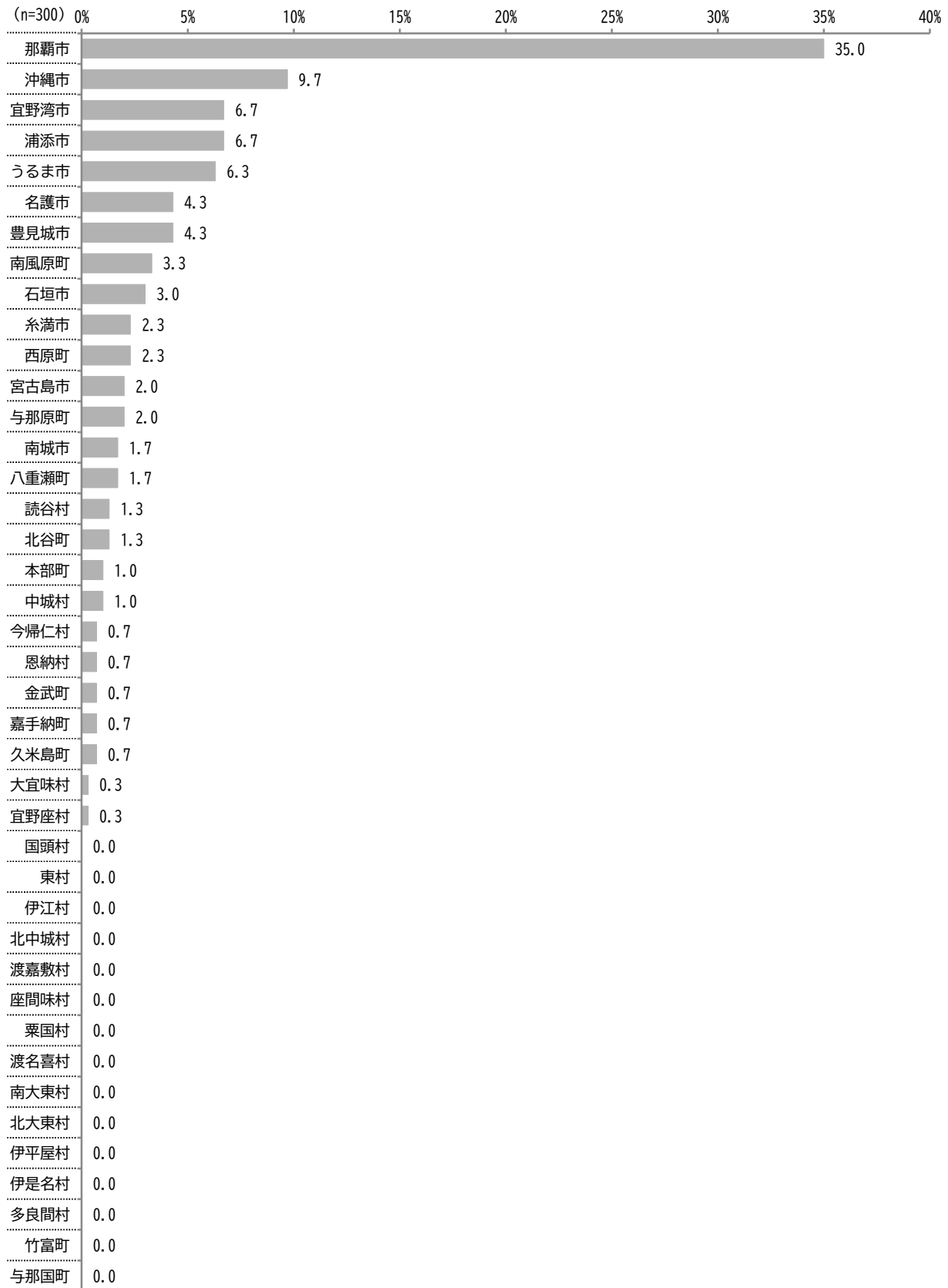
あなたの居住する市町村をお答えください。

図表 2 居住地域(エリア別)



- 全体では、「中部エリア」が 36.0%で最も多く、次いで「那覇市」が 35.0%、「南部エリア」が 16.0%となっている。

図表 3 居住地域(市町村別)



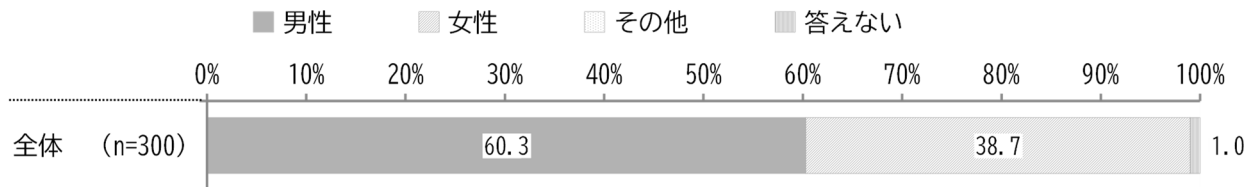
- 全体では、「那覇市」が 35.0%で最も多く、次いで「沖縄市」が 9.7%、「宜野湾市」「浦添市」が 6.7%となっている。

②本調査結果

(2) 性別

問 1. あなたの性別をお答えください。※自認する性別でお答えください

図表 4 性別

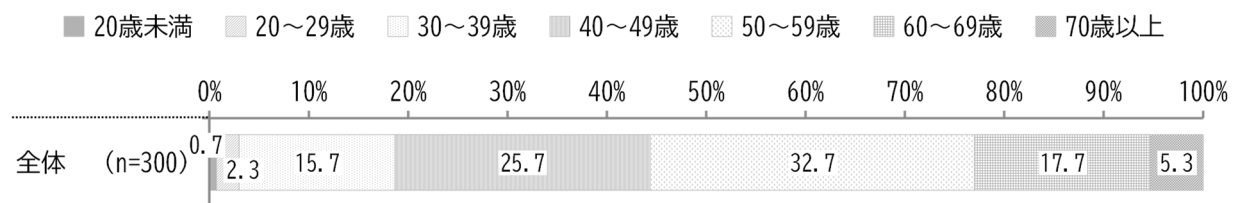


- 全体では、「男性」が 60.3%、「女性」が 38.7%となっている。

(3) 年代

問2. あなたの年齢をお答えください。

図表 5 年代

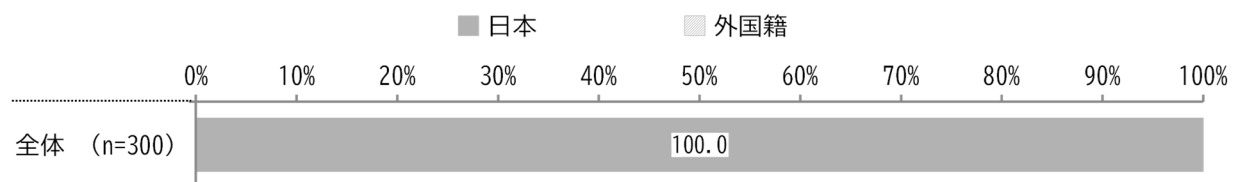


- 全体では、「50～59歳」が 32.7%で最も多く、次いで「40～49歳」が 25.7%、「60～69歳」が 17.7%となっている。

(4) 国籍

問 3. あなたの国籍をお答えください。

図表 6 国籍

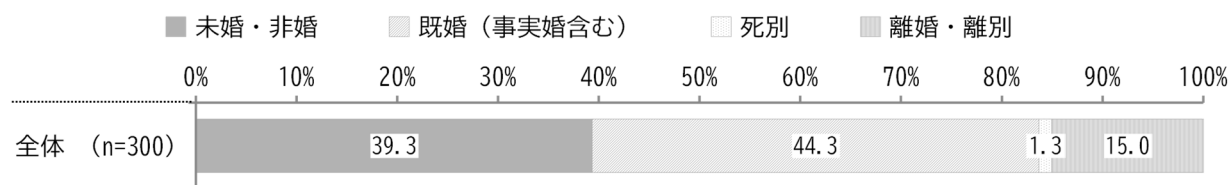


➤ 全体では、「日本」が 100.0%となっている。

(5) 婚姻状況

問 4. あなたは現在、結婚(事実婚含む)していますか。

図表 7 婚姻状況

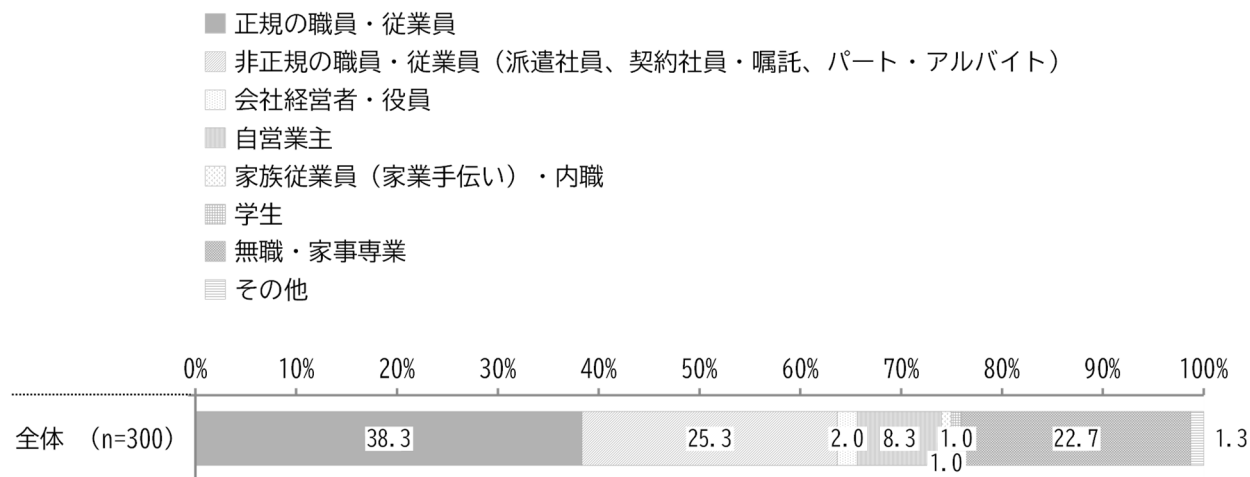


- 全体では、「既婚(事実婚含む)」が 44.3%、「未婚・非婚」が 39.3%となっている。

(6) 職業

問 5. あなたの職業をお答えください。

図表 8 職業

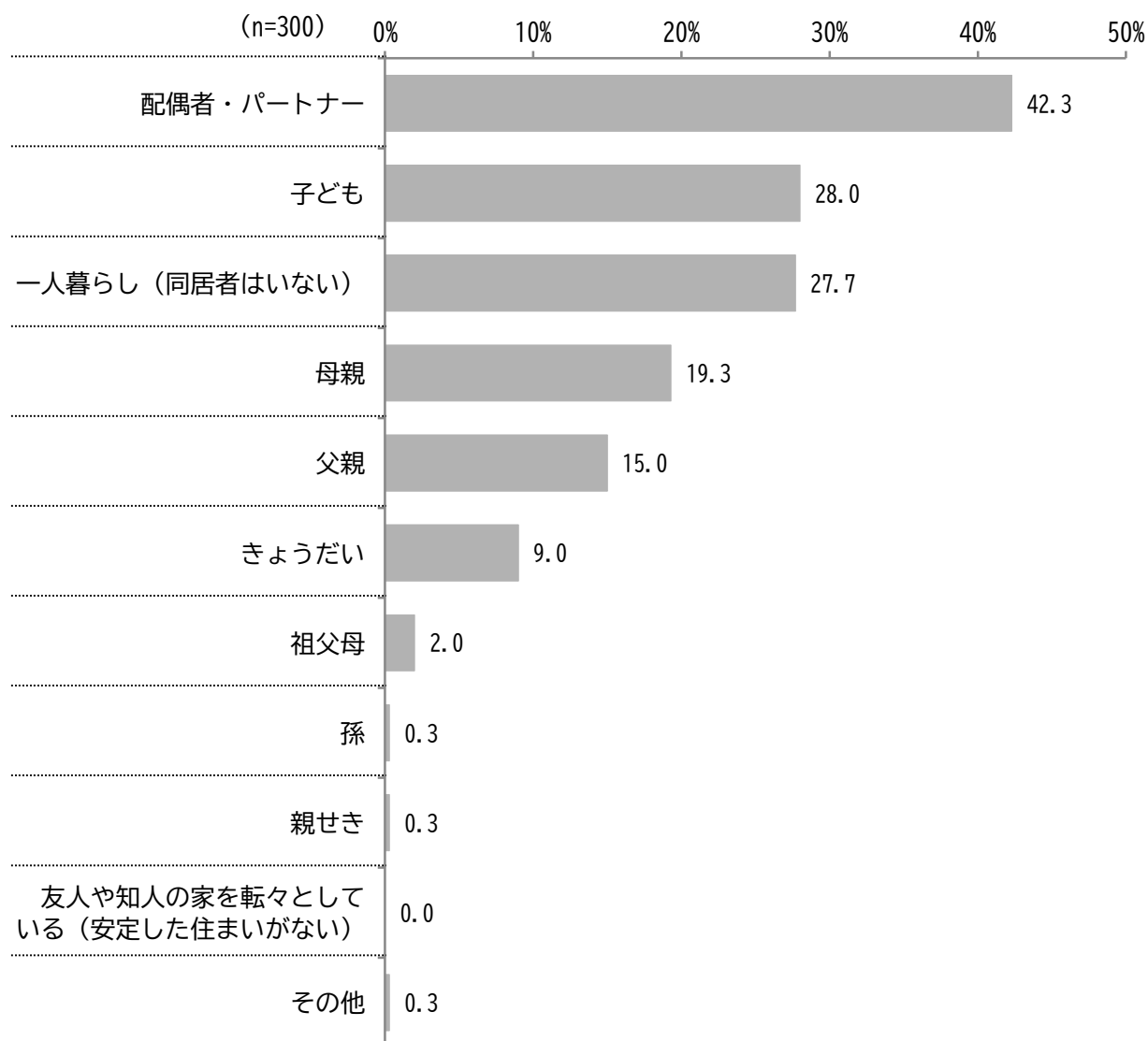


- 全体では、「正規の職員・従業員」が 38.3%で最も多く、次いで「非正規の職員・従業員（派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト）」が 25.3%、「無職・家事専業」が 22.7%となっている。

(7) 同居者.....

問 6. あなたが現在、一緒に住んでいる方はどなたですか。(いくつでも)

図表 9 同居者



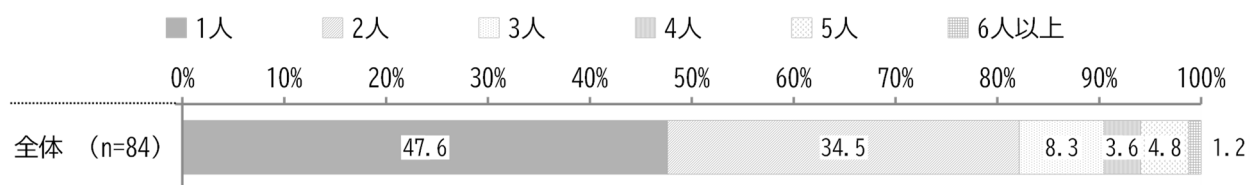
- 全体では、「配偶者・パートナー」が42.3%で最も多く、次いで「子ども」が28.0%、「一人暮らし（同居者はいない）」が27.7%となっている。

(8) 同居する子の人数

問 6.で「子ども」と回答した方

問 7-1. 同居しているお子さんの人数をお選びください。

図表 10 同居する子の人数



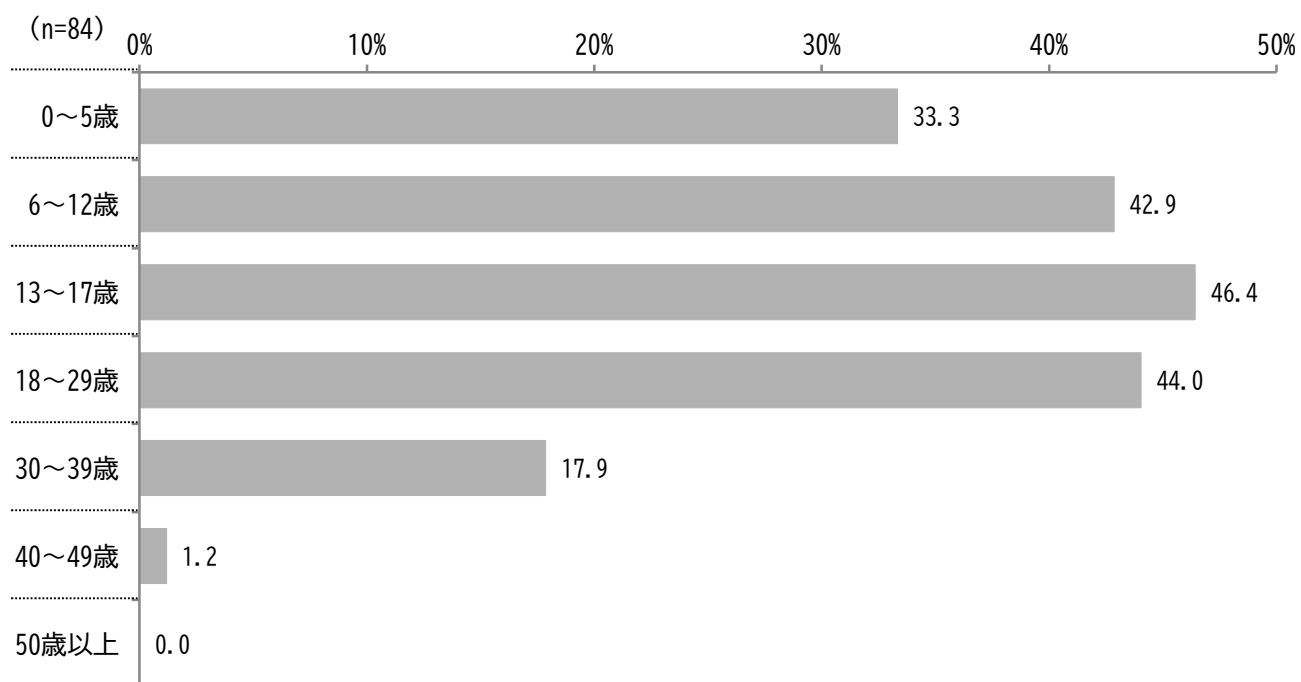
- 全体では、「1 人」が 47.6%で最も多く、次いで「2 人」が 34.5%、「3 人」が 8.3%となっている。

(9) 同居する子の年齢

問 6.で「子ども」と回答した方

問 7-2. 同居しているお子さんの年齢をお選びください。(いくつでも)

図表 11 同居する子の年齢



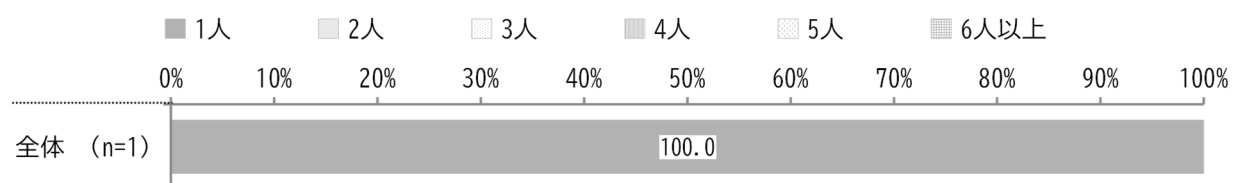
- 全体では、「13～17 歳」が 46.4%で最も多く、次いで「18～29 歳」が 44.0%、「6～12 歳」が 42.9%となっている。

(10) 同居する孫の人数.....

問 6.で「孫」と回答した方

問 8-1. 同居しているお孫さんの人数をお選びください。

図表 12 同居する孫の人数



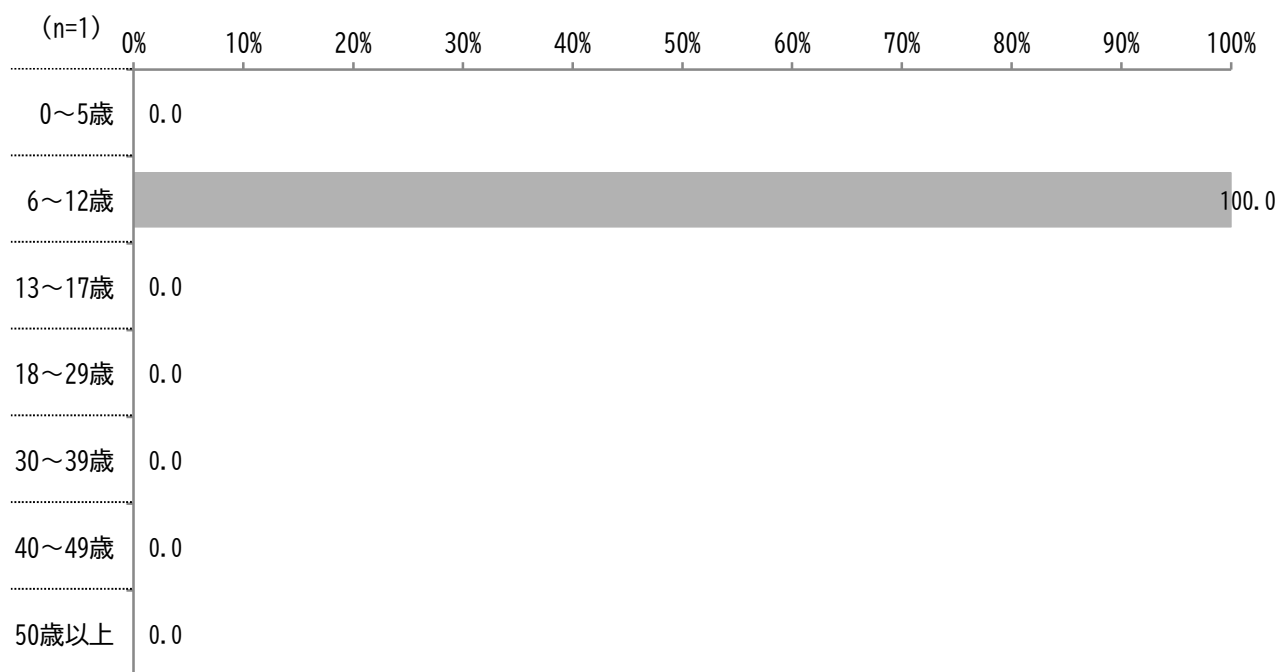
- 回答者は1人であり、同居する孫の人数は「1人」であった。

(11) 同居する孫の年齢

問 6.で「孫」と回答した方

問 8-2. 同居しているお孫さんの年齢をお選びください。

図表 13 同居する孫の年齢

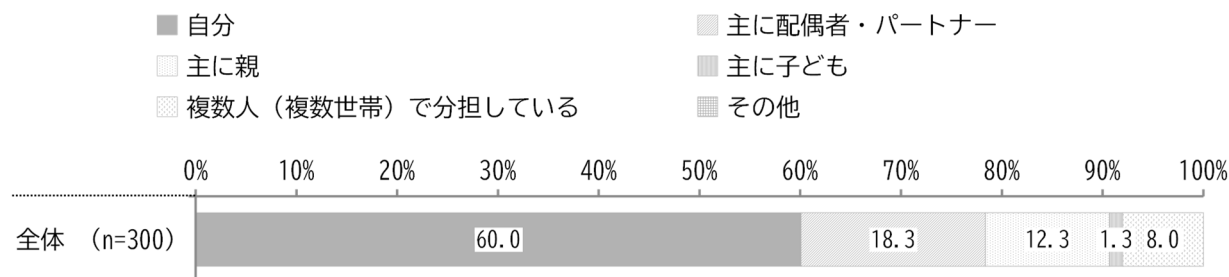


- 回答者は 1 人であり、同居する孫の年齢は「6～12 歳」であった。

(12) 家計の主な担い手……………

問 9. あなたの世帯で、家計を主に支えている人はどなたですか。

図表 14 家計の主な担い手(単純集計)



- 全体では、「自分」が 60.0%で最も多く、次いで「主に配偶者・パートナー」が 18.3%、「主に親」が 12.3%となっている。

図表 15 家計の主な担い手(クロス集計)

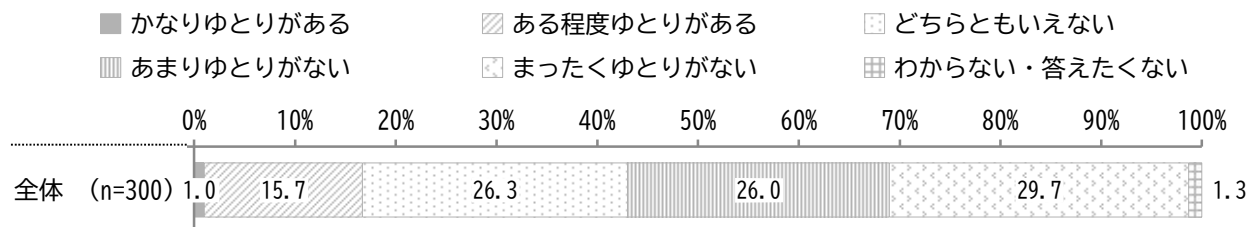
		自分	主に配偶者・パートナー	主に親	主に子ども	複数人 (複数世帯) で分担している	その他
合計		60.0	18.3	12.3	1.3	8.0	-
性別	男性	72.4	6.6	10.5	0.6	9.9	-
	女性	40.5	36.2	15.5	2.6	5.2	-
	その他	-	-	-	-	-	-
	答えない	66.7	33.3	-	-	-	-
年代	20歳未満	50.0	-	50.0	-	-	-
	20～29歳	42.9	14.3	42.9	-	-	-
	30～39歳	46.8	25.5	21.3	-	6.4	-
	40～49歳	50.6	18.2	20.8	-	10.4	-
	50～59歳	62.2	18.4	6.1	4.1	9.2	-
	60～69歳	77.4	17.0	1.9	-	3.8	-
	70歳以上	81.3	6.3	-	-	12.5	-

- 「自分」とする割合は、女性の 40.5%に対し男性は 72.4%と、男性が女性を大きく上回っている。一方で、「主に配偶者・パートナー」が家計の主な担い手であると回答した女性の割合は、男性が 6.6%であるのに対し、女性は 36.2%に達している。
- 年代別では、20 歳以上では年代が上がるにつれて「自分」とする割合が上昇し、70 歳以上で最高の 81.3%となっている。対照的に「主に親」とする割合は、20 歳未満(50.0%)をピークに、年代が上がるにつれて低下する傾向がみられる。

(13) 経済的な暮らし向き……………

問 10. あなたの現在の経済的な暮らし向きは、いかがですか。

図表 16 経済的な暮らし向き(単純集計)



- 全体では、「まったくゆとりがない」が 29.7%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 26.3%、「あまりゆとりがない」が 26.0%となっている。

図表 17 経済的な暮らし向き(クロス集計)

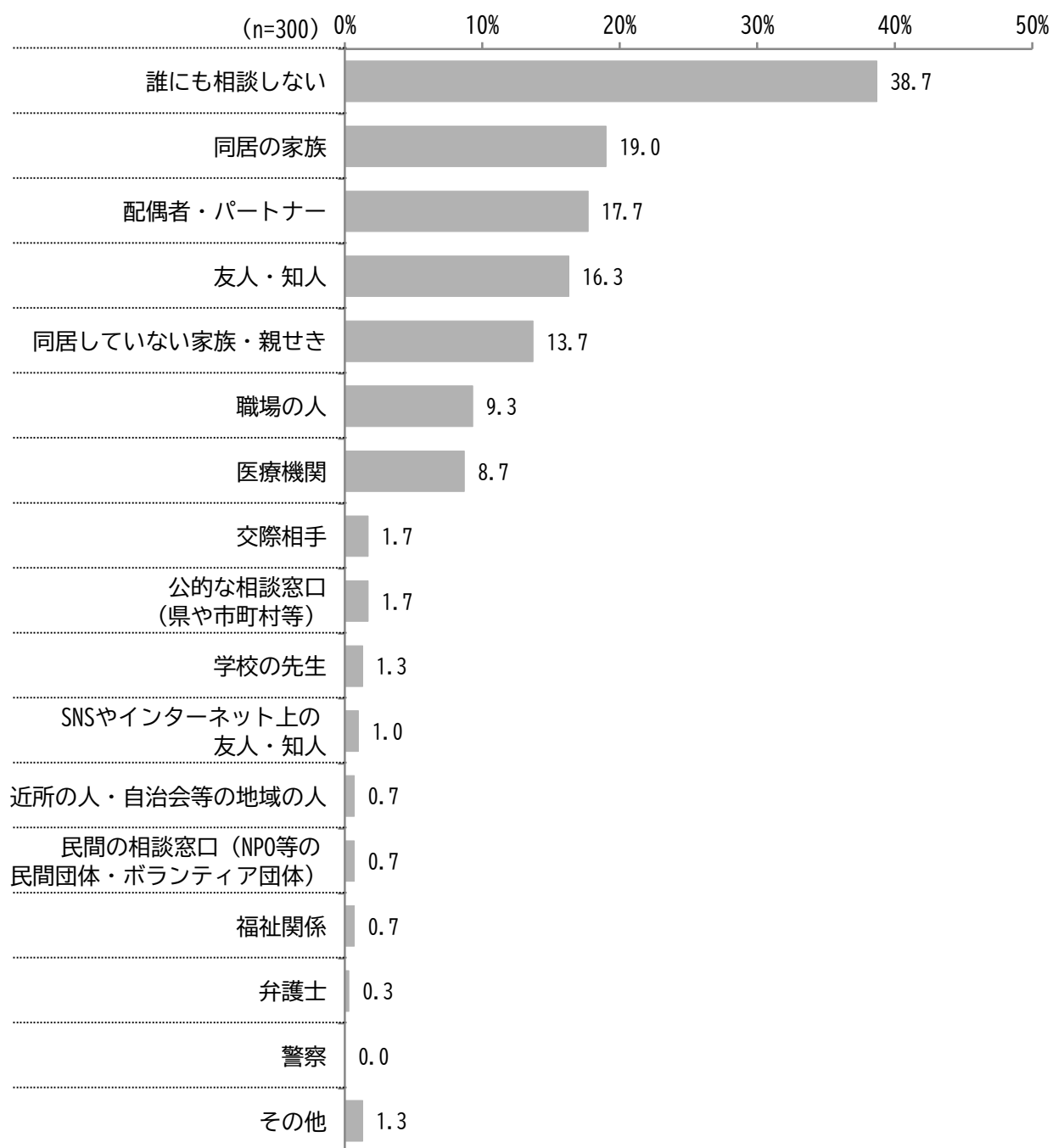
		(%)					
		がかなりゆとり	がある程度ゆと	えどちらともい	があまりゆとり	りまったくゆと	答えかたらない・
合 計		1.0	15.7	26.3	26.0	29.7	1.3
性別	男性	1.7	19.3	26.5	24.3	26.5	1.7
	女性	-	10.3	25.0	29.3	34.5	0.9
	その他	-	-	-	-	-	-
	答えない	-	-	66.7	-	33.3	-
年代	20歳未満	-	-	50.0	-	-	50.0
	20～29歳	14.3	-	14.3	14.3	42.9	14.3
	30～39歳	2.1	8.5	25.5	29.8	34.0	-
	40～49歳	-	14.3	22.1	28.6	35.1	-
	50～59歳	1.0	17.3	26.5	27.6	25.5	2.0
	60～69歳	-	18.9	35.8	17.0	28.3	-
	70歳以上	-	31.3	18.8	31.3	18.8	-

- 性別でみると、「まったくゆとりがない」は男性 26.5%に対し女性 34.5%、「あまりゆとりがない」は男性 24.3%に対し女性 29.3%と、いずれも女性の割合が男性を上回っており、女性の方が経済的な厳しさを感じている傾向がうかがえる。
- 年代別では、20～29 歳の「まったくゆとりがない」が 42.9%と最も高く、次いで 40 代 (35.1%)、30 代(34.0%)が続いている。若年層ほど経済的なゆとりのなさを感じている傾向がみられ、年代が上がるにつれてその割合は低下している。
- 「あまりゆとりがない」は 70 歳以上で 31.3%となっている。

(14) 困りごとや悩みの相談先……………

問 11. あなたが抱えた、以下の困りごとや悩みについて、誰に相談しますか／しましたか。(いくつでも)

図表 18 困りごとや悩みの相談先(単純集計)



- 合計では、「誰にも相談しない」が 38.7%で最も多く、次いで「同居の家族」が 19.0%、「配偶者・パートナー」が 17.7%となっている。

図表 19 困りごとや悩みの相談先(クロス集計)

(%)

		誰にも相談しない	同居の家族	配偶者・パートナー	友人・知人	同居していない家族・親せき	職場の人	医療機関	交際相手	公的な相談窓口（県や市町村等）	学校の先生	SNSやインターネット上の友人・知人	近所の人・自治会等の地域の人	民間の相談窓口（NPO等）
	合計	38.7	19.0	17.7	16.3	13.7	9.3	8.7	1.7	1.7	1.3	1.0	0.7	0.7
性別	男性	43.1	16.6	19.3	12.2	8.3	7.7	9.9	2.2	1.7	0.6	1.1	0.6	1.1
	女性	31.0	23.3	14.7	23.3	22.4	12.1	6.9	0.9	1.7	2.6	0.9	0.9	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	答えない	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代	20歳未満	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	42.9	57.1	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-	-
	30～39歳	48.9	19.1	17.0	8.5	10.6	12.8	4.3	2.1	2.1	-	2.1	-	-
	40～49歳	31.2	24.7	16.9	20.8	19.5	11.7	9.1	1.3	1.3	3.9	1.3	-	1.3
	50～59歳	35.7	20.4	19.4	19.4	10.2	11.2	10.2	1.0	1.0	-	1.0	2.0	1.0
	60～69歳	37.7	3.8	18.9	17.0	18.9	3.8	9.4	3.8	3.8	-	-	-	-
	70歳以上	62.5	18.8	18.8	-	6.3	-	12.5	-	-	-	-	-	-

		福祉関係	弁護士	警察	その他
	合計	0.7	0.3	-	1.3
性別	男性	0.6	0.6	-	1.1
	女性	0.9	-	-	1.7
	その他	-	-	-	-
	答えない	-	-	-	-
年代	20歳未満	-	-	-	-
	20～29歳	-	-	-	-
	30～39歳	2.1	-	-	2.1
	40～49歳	-	1.3	-	-
	50～59歳	-	-	-	-
	60～69歳	1.9	-	-	5.7
	70歳以上	-	-	-	-

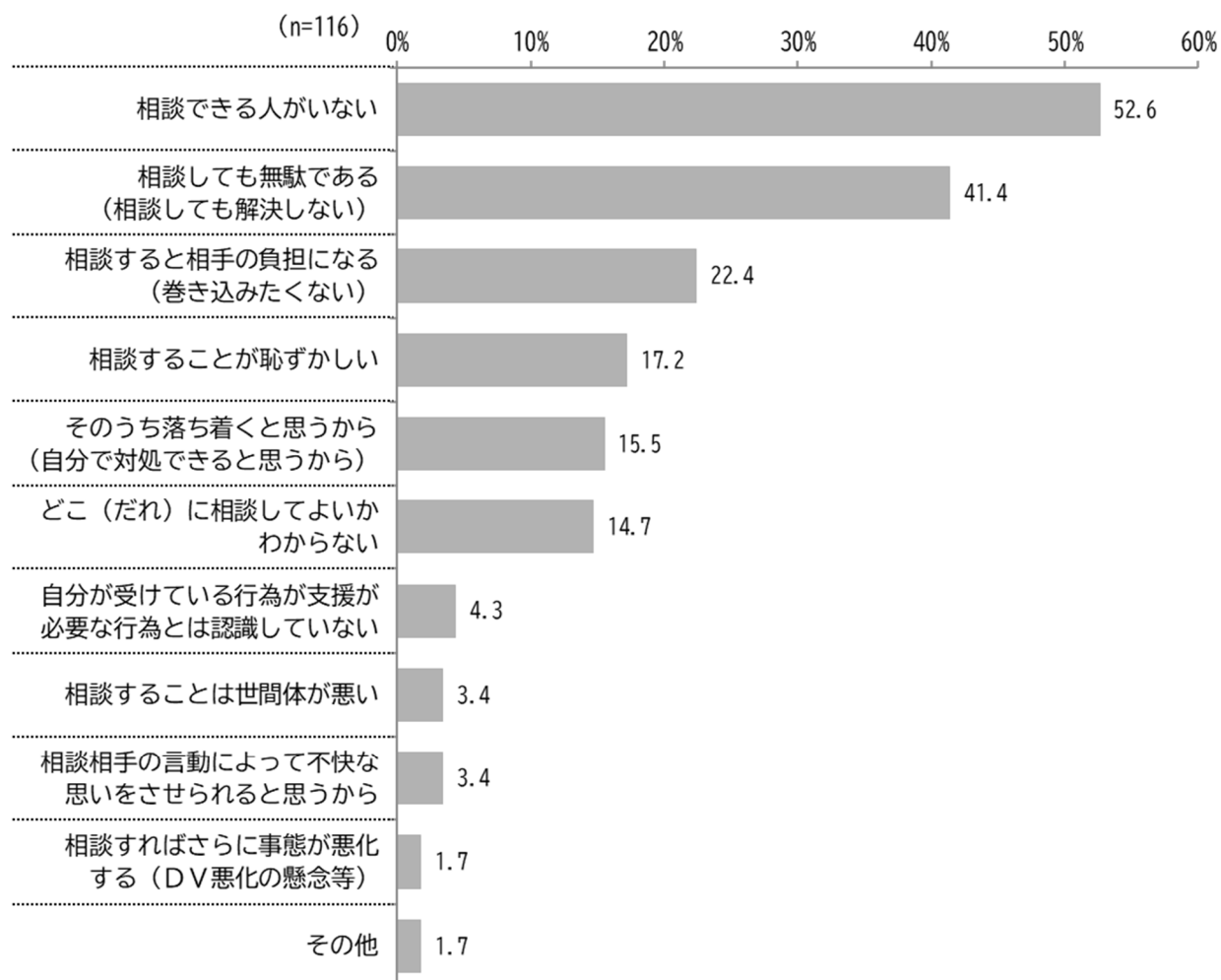
- 「誰にも相談しない」は女性 31.0%に対し男性 43.1%と、男性が女性を大きく上回っている。一方で、女性は「同居の家族(23.3%)」や「友人・知人(23.3%)」、「同居していない家族・親せき(22.4%)」など、周囲の多様な関係者に相談する割合が男性より高い傾向がうかがえる。
- 年代別では、70 歳以上の「誰にも相談しない」が 62.5%と最も高く、20 代では「同居の家族」(57.1%)への相談が半数を超える一方、年代が上がるにつれて身近な相談相手が限られる傾向がみられる。

(15) 相談しない理由

問 11.で「誰にも相談しない」を選択した方

問 12. あなたが困りごとや悩みを誰かに相談しないのは、どのような理由からですか。(いくつでも)

図表 20 相談しない理由(単純集計)



- 全体では、「相談できる人がいない」が 52.6%で最も多く、次いで「相談しても無駄である(相談しても解決しない)」が 41.4%、「相談すると相手の負担になる(巻き込みたくない)」が 22.4%となっている。

図表 21 相談しない理由(クロス集計)

		(%)										
		相談できる人がいない	相談しても無駄である(相談しても解決しない)	相談すると相手の負担になる(巻き込みたくない)	相談することが恥ずかしい	そのうち落ち着くと思うから(自分で対処できると思う)	どこ(だれ)に相談してよいかわからない	自分が受けている行為が支援に必要なのは認識がしない	相談することは世間体が悪い	相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思う	相談すればさらに事態が悪化する(DV悪化の懸念等)	その他
合 計		52.6	41.4	22.4	17.2	15.5	14.7	4.3	3.4	3.4	1.7	1.7
性別	男性	50.0	39.7	23.1	11.5	15.4	10.3	5.1	3.8	2.6	1.3	1.3
	女性	58.3	44.4	19.4	30.6	13.9	25.0	2.8	2.8	5.6	2.8	2.8
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	答えない	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
年代	20歳未満	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30～39歳	60.9	34.8	17.4	13.0	21.7	17.4	4.3	-	-	-	-
	40～49歳	58.3	41.7	29.2	20.8	16.7	20.8	-	8.3	12.5	-	-
	50～59歳	51.4	40.0	11.4	22.9	14.3	17.1	2.9	5.7	2.9	2.9	5.7
	60～69歳	40.0	55.0	40.0	20.0	5.0	5.0	10.0	-	-	-	-
	70歳以上	30.0	40.0	30.0	-	30.0	10.0	10.0	-	-	10.0	-

- 「相談できる人がいない」が男性 50.0%に対し女性 58.3%と、いずれも半数を超えて最多となっている。一方で、女性は「相談することが恥ずかしい(30.6%)」や「どこ(だれ)に相談してよいかわからない(25.0%)」といった項目が男性より顕著に高く、心理的ハードルや情報不足が相談を阻む要因となっている傾向がうかがえる。
- 年代別では、30 歳未満で「相談できる人がいない」が 100.0%に達しており、若年層における相談相手がないことにより、相談できない状況にあることが分かる。一方で、60 代では「相談しても無駄である(55.0%)」が「相談できる人がいない(40.0%)」を上回って最多となっており、年代が上がるにつれて支援に対する諦めや無力感から相談に至らない傾向がみられる。

(16) 行政支援・公的相談窓口を利用しなかった理由

問 13. あなたが抱えた、以下の困りごとや悩みについて、行政の支援や、公的な相談窓口(県・市町村など)を利用しなかった理由は何ですか。(いくつでも)

図表 22 行政支援・公的相談窓口を利用しなかった理由(単純集計)



- 全体では、「どこに相談したらよいかわからないから」が42.3%で最も多く、次いで「相談できる窓口や制度があることを知らなかった」が 25.0%、「行政に相談するのは抵抗があると感じた」が 21.0%となっている。

図表 23 行政支援・公的相談窓口を利用しなかった理由(クロス集計)

		どこに相談したらよいかわからないから	相談できる窓口や制度があることを知らなかった	行政に相談するのは抵抗があると感じた	恥ずかしい、または自分の問題を小さく感じた	支援を受けるための手続きが面倒だから	家族などに迷惑をかけたくなかった	相談内容を知られたくない(プライバシーが気になった)	窓口の場所や連絡先がわからなかった	相談できる時間帯が合わなかった	窓口まで行くのが難しい(交通手段・距離など)	以前相談したが、十分嫌な対応をしなかった	民間団体や知人など、他に頼める人があつた
合計		42.3	25.0	21.0	15.3	13.7	12.0	11.0	7.3	5.0	3.3	2.7	2.3
性別	男性	41.4	26.5	21.0	13.8	14.4	11.6	9.4	6.6	5.0	1.7	2.2	3.3
	女性	43.1	23.3	20.7	17.2	12.1	12.9	12.9	8.6	5.2	5.2	3.4	0.9
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	答えない	66.7	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	-
年代	20歳未満	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	57.1	28.6	-	-	14.3	14.3	-	14.3	14.3	-	-	-
	30～39歳	46.8	14.9	23.4	23.4	21.3	21.3	10.6	8.5	4.3	2.1	-	2.1
	40～49歳	41.6	24.7	23.4	16.9	13.0	11.7	14.3	3.9	5.2	3.9	2.6	-
	50～59歳	50.0	25.5	17.3	11.2	11.2	7.1	8.2	9.2	5.1	4.1	2.0	4.1
	60～69歳	30.2	30.2	26.4	17.0	13.2	13.2	9.4	7.5	3.8	3.8	5.7	3.8
	70歳以上	18.8	31.3	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	6.3	6.3	-	6.3	-

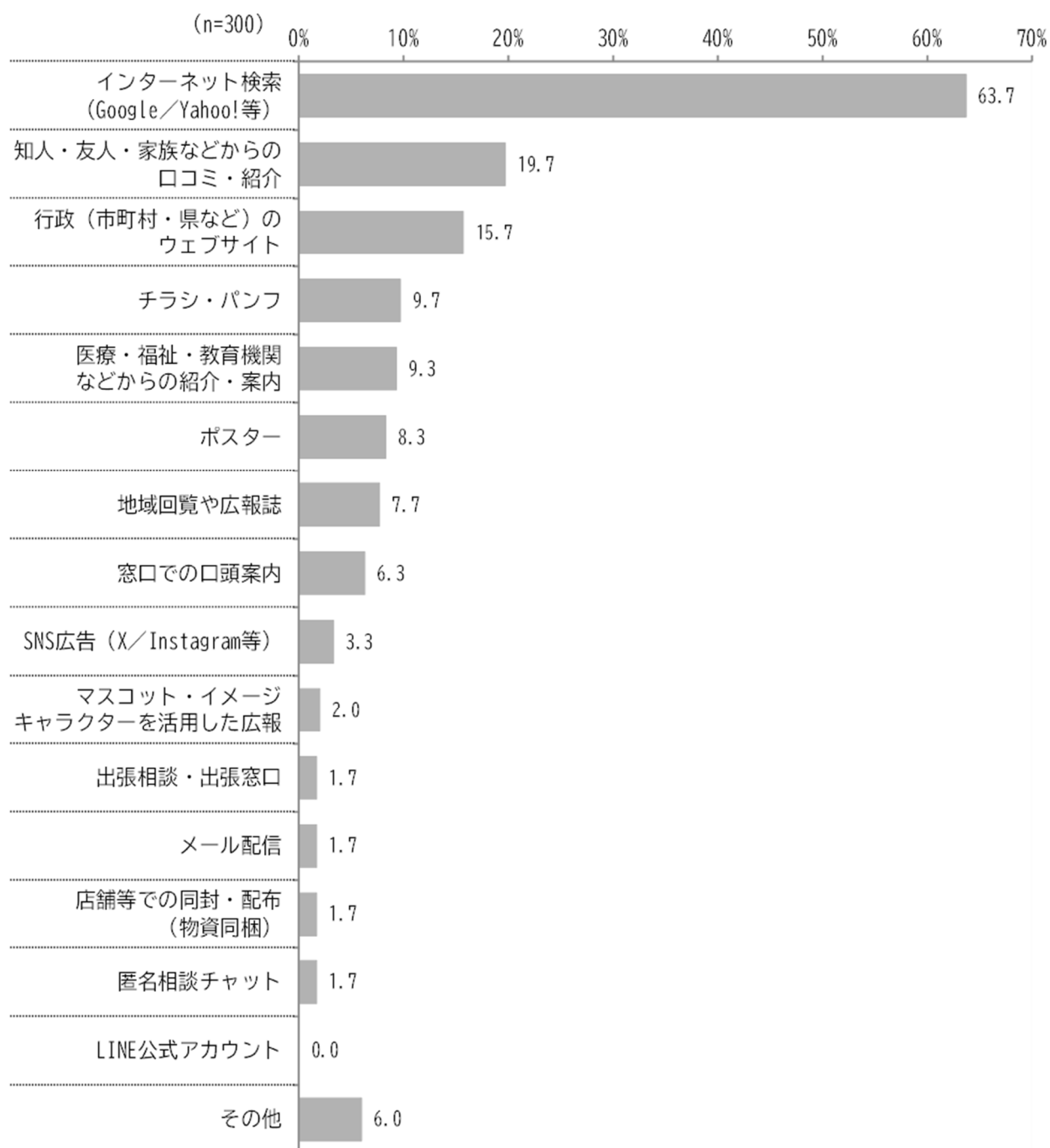
		「どこに相談したらよいかわからない」と言われたから窓口はよくない	以前相談したが、断られた	相談内容が周囲の監視が厳しかった(プライバシーが気になった)	その他
合計		2.3	1.3	0.3	9.0
性別	男性	3.3	1.1	-	10.5
	女性	0.9	1.7	0.9	6.9
	その他	-	-	-	-
	答えない	-	-	-	-
年代	20歳未満	-	-	-	-
	20～29歳	-	-	-	-
	30～39歳	4.3	-	-	8.5
	40～49歳	2.6	1.3	1.3	7.8
	50～59歳	1.0	3.1	-	9.2
	60～69歳	1.9	-	-	13.2
	70歳以上	6.3	-	-	6.3

- 「どこに相談したらよいかわからない」が男性 41.4%、女性 43.1%と、いずれも 4 割を超えて最多となっている。全体的に性別による大きな差はみられないが、「恥ずかしい、または自分の問題を小さく感じた」は女性(17.2%)が男性(13.8%)をやや上回っている。
- 年代別では、30 代未満で「どこに相談したらよいかわからない」が 50%を超えており、若年層における窓口の認知不足が顕著である。一方、年代が上がるにつれて「相談できる窓口や制度があることを知らなかった」とする割合が高くなる傾向がみられ、70 歳以上では 31.3%で最も高くなっている。また、同年代では「相談内容を知られたくなかった(プライバシーが気になった)」(25.0%)も比較的高い。

(17) 支援・相談情報の入手経路……………

問 14. 困りごとや悩みについて情報を探す際、主にどの手段を利用しますか。(いくつでも)

図表 24 支援・相談情報の入手経路(単純集計)



- 合計では、「インターネット検索(Google/Yahoo!等)」が 63.7%で最も多く、次いで「知人・友人・家族などからの口コミ・紹介」が 19.7%、「行政(市町村・県など)のウェブサイト」が 15.7%となっている。

図表 25 支援・相談情報の入手経路(クロス集計)

		インターネット検索 (Google/Yahoo!等)	知人・友人・家族などからの口コミ・紹介	行政(市町村・県など)のウェブサイト	チラシ・パンフ	医療・福祉・教育機関などからの紹介・案内	ポスター	地域回覧や広報誌	窓口での口頭案内	SNS広告(X/Instagram等)	マスコット・イメージキャラクターを活用した広報	出張相談・出張窓口	メール配信	店舗等での同封・配布(物資同梱)
合 計		63.7	19.7	15.7	9.7	9.3	8.3	7.7	6.3	3.3	2.0	1.7	1.7	1.7
性別	男性	66.9	18.2	14.9	8.8	7.7	6.6	5.5	5.5	2.2	2.2	2.2	2.8	0.6
	女性	60.3	21.6	17.2	11.2	12.1	10.3	11.2	7.8	5.2	1.7	0.9	-	3.4
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	答えない	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
年代	20歳未満	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	28.6	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	-	14.3	28.6	-	-	-	-
	30～39歳	74.5	17.0	6.4	2.1	12.8	-	2.1	4.3	10.6	4.3	4.3	2.1	-
	40～49歳	61.0	19.5	14.3	18.2	7.8	14.3	5.2	10.4	3.9	2.6	-	2.6	2.6
	50～59歳	64.3	17.3	17.3	11.2	9.2	9.2	8.2	6.1	-	2.0	1.0	-	1.0
	60～69歳	62.3	24.5	13.2	1.9	9.4	5.7	17.0	3.8	-	-	1.9	1.9	1.9
	70歳以上	68.8	18.8	37.5	6.3	6.3	6.3	6.3	-	-	-	6.3	6.3	6.3

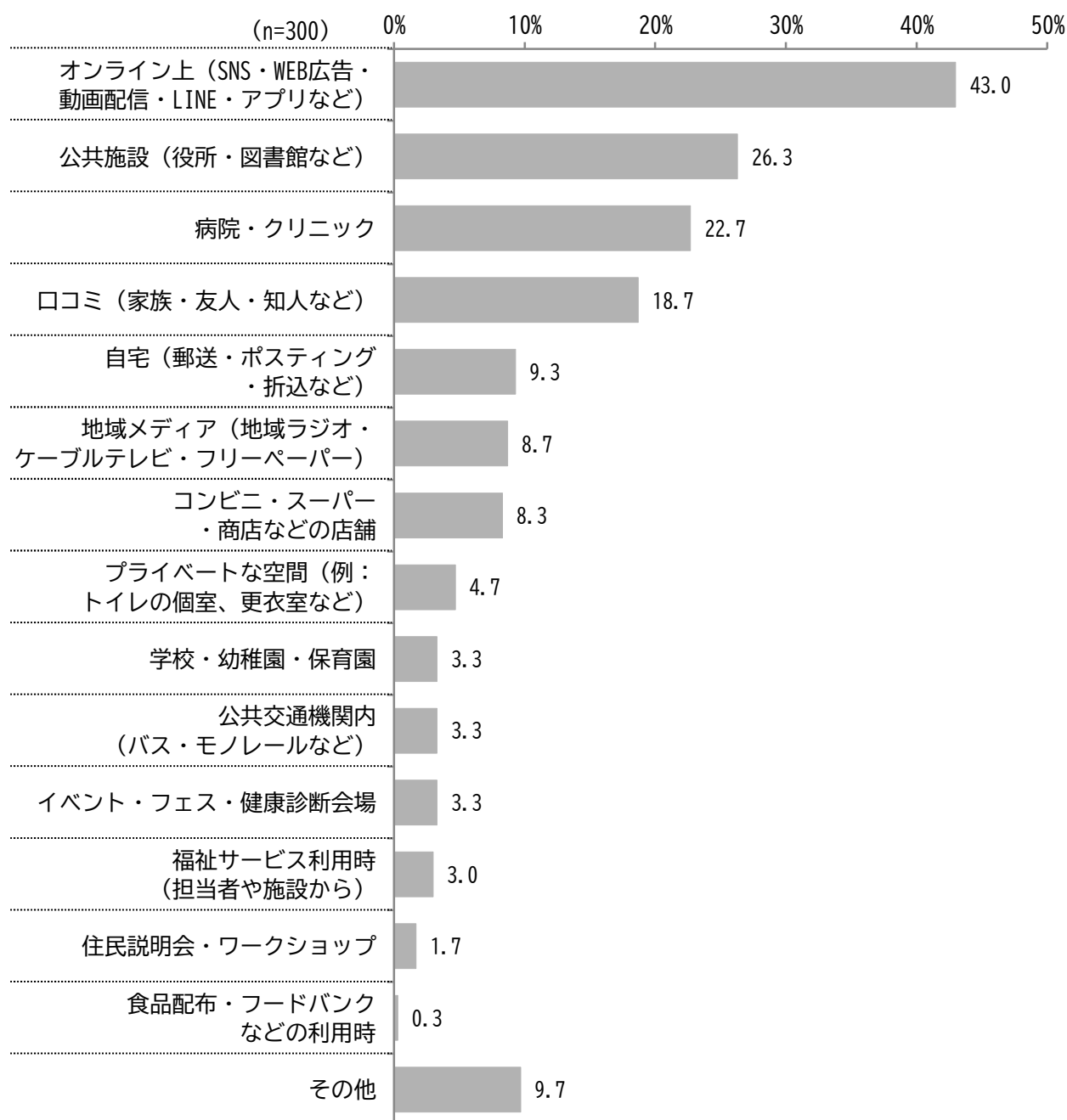
		匿名相談チャット	LINE公式アカウント	その他
合 計		1.7	-	6.0
性別	男性	1.7	-	6.1
	女性	1.7	-	5.2
	その他	-	-	-
	答えない	-	-	33.3
年代	20歳未満	-	-	-
	20～29歳	-	-	-
	30～39歳	-	-	2.1
	40～49歳	2.6	-	5.2
	50～59歳	1.0	-	8.2
	60～69歳	1.9	-	7.5
	70歳以上	6.3	-	6.3

- 「インターネット検索」が男性 66.9%、女性 60.3%といずれも 6 割を超えて最多となっており、性別を問わず主要な情報入手手段となっている。一方、「知人・友人・家族などからの口コミ・紹介」(女性 21.6%、男性 18.2%)や「チラシ・パンフ」(女性 11.2%、男性 8.8%)、「ポスター」(女性 10.3%、男性 6.6%)などでは女性の割合が男性を上回っており、女性の方が複数の媒体から情報を得ている傾向がみられる。
- 20代では「行政(市町村・県など)のウェブサイト」(42.9%)が全年代の中で最も高く、次いで「インターネット検索」および「SNS 広告」(いずれも 28.6%)となっており、公的情報とインターネット媒体を併用する傾向がみられる。
- また、60代では「地域回覧や広報誌」(17.0%)、70歳以上では「行政のウェブサイト」(37.5%)の割合が他の年代と比べて高く、公的情報から情報を得る割合が比較的高い。

(18) 支援・相談情報を見聞きした場所……………

問 15. あなたが普段の生活の中で、支援や相談に関する情報を「見たり受け取った場所」として、あてはまるものを選んでください。(いくつでも)

図表 26 支援・相談情報を見聞きした場所(単純集計)



- 全体では、「オンライン上(SNS・WEB広告・動画配信・LINE・アプリなど)」が 43.0%で最も多く、次いで「公共施設(役所・図書館など)」が 26.3%、「病院・クリニック」が 22.7%となっている。

図表 27 支援・相談情報を見聞きした場所(クロス集計)

		オンライン上(SNS・ウェブ広告・動画配信・LINE・アプリなど)	公共施設(役所・図書館など)	病院・クリニック	口コミ(家族・友人・知人など)	自宅(郵送・ポスティング・折込など)	地域メディア(地域ラジオリーベーパー)	コンビニ・スーパー・商店などの店舗	プライベートな空間(例: トイレの個室、更衣室など)	学校・幼稚園・保育園	公共交通機関内(バス・モノレールなど)	イベント・フェス・健康診断会場	福祉サービス利用時(担当者や施設から)	住民説明会・ワークショップ
合 計		43.0	26.3	22.7	18.7	9.3	8.7	8.3	4.7	3.3	3.3	3.3	3.0	1.7
性別	男性	48.1	24.9	21.5	16.6	7.2	5.5	6.1	1.1	2.2	2.8	2.8	1.1	2.2
	女性	36.2	29.3	25.0	21.6	12.1	13.8	12.1	10.3	5.2	4.3	4.3	6.0	0.9
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	答えない	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
年代	20歳未満	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	85.7	14.3	14.3	28.6	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-
	30～39歳	46.8	25.5	31.9	12.8	10.6	12.8	12.8	10.6	6.4	6.4	2.1	6.4	2.1
	40～49歳	37.7	19.5	27.3	11.7	9.1	9.1	10.4	5.2	5.2	5.2	5.2	2.6	1.3
	50～59歳	40.8	26.5	17.3	20.4	10.2	7.1	6.1	4.1	1.0	2.0	2.0	2.0	1.0
	60～69歳	43.4	30.2	22.6	30.2	9.4	7.5	7.5	1.9	1.9	1.9	5.7	3.8	1.9
	70歳以上	43.8	56.3	12.5	18.8	6.3	12.5	6.3	-	-	-	-	-	6.3

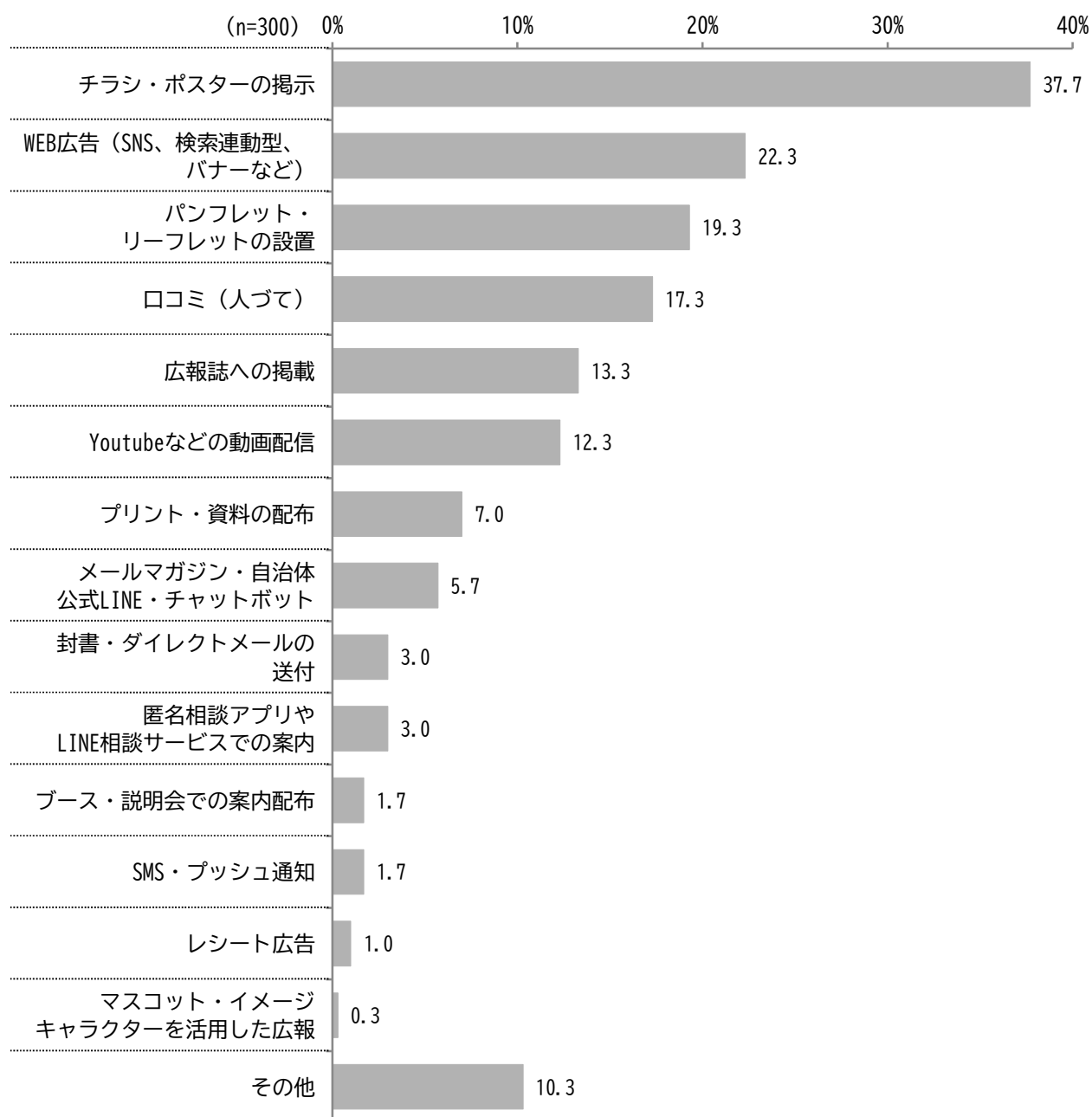
		食の配布・フードバンクなど	その他
合 計		0.3	9.7
性別	男性	0.6	9.4
	女性	-	9.5
	その他	-	-
	答えない	-	33.3
年代	20歳未満	-	-
	20～29歳	-	-
	30～39歳	2.1	6.4
	40～49歳	-	10.4
	50～59歳	-	11.2
	60～69歳	-	9.4
	70歳以上	-	12.5

- 「オンライン上(SNS・ウェブ広告・動画配信・LINE・アプリなど)」が、男性 48.1%、女性 36.2% といずれも最多であり、デジタル媒体を通じた情報接触が主流となっている。一方で、女性は「公共施設(29.3%)」、「病院・クリニック(25.0%)」、「口コミ(21.6%)」といった項目がいずれも男性を上回っており、実生活の動線や対人ネットワークにおいても情報に触れる機会が多い傾向がうかがえる。
- 年代別では、20 歳未満で「オンライン上」が 100.0%、20 代でも 85.7%に達しており、若年層における情報収集が主にデジタル媒体を通じて行われていることが分かる。対照的に、年代が上がるにつれて「公共施設」の割合が上昇し、70 歳以上(56.3%)では「オンライン上(43.8%)」を大きく上回って最多となるなど、高齢層においては公共施設における掲示物などを実際に見ることが重要な情報収集の方法となっている傾向がみられる。

(19) 支援・相談情報を見聞きした手段……………

問 16. その情報をどのような「手段」で見たり受け取ったか、あてはまるものを選んでください。(いくつでも)

図表 28 支援・相談情報を見聞きした手段(単純集計)



- 全体では、「チラシ・ポスターの掲示」が 37.7%で最も多く、次いで「WEB広告(SNS、検索連動型、バナーなど)」が 22.3%、「パンフレット・リーフレットの設置」が 19.3%となっている。

図表 29 支援・相談情報を見聞きした手段(クロス集計)

		チラシ・ポスターの掲示	WEB広告(SNS、検索連動型、バナーなど)	パンフレット・リーフレットの設置	口コミ(人づて)	広報誌への掲載	YouTubeなどの動画配信	プリント・資料の配布	メールマガジン・自治体公式LINE・チャットボツ	封書・ダイレクトメールの送付	匿名相談アプリやLINE相談サービスでの案内	ブース・説明会での案内配	SMS・プッシュ通知
合 計		37.7	22.3	19.3	17.3	13.3	12.3	7.0	5.7	3.0	3.0	1.7	1.7
性別	男性	33.7	25.4	17.1	14.4	10.5	16.0	7.2	6.1	3.3	2.2	2.2	1.7
	女性	44.8	18.1	23.3	21.6	17.2	6.9	6.9	5.2	2.6	4.3	0.9	1.7
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	答えない	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-
年代	20歳未満	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	42.9	28.6	14.3	14.3	-	28.6	-	28.6	-	14.3	-	-
	30～39歳	42.6	25.5	10.6	19.1	10.6	19.1	6.4	4.3	8.5	8.5	4.3	8.5
	40～49歳	37.7	24.7	16.9	13.0	5.2	14.3	7.8	3.9	1.3	2.6	1.3	-
	50～59歳	38.8	24.5	20.4	18.4	13.3	6.1	5.1	4.1	3.1	2.0	-	1.0
	60～69歳	32.1	13.2	28.3	20.8	28.3	15.1	3.8	9.4	-	-	3.8	-
	70歳以上	31.3	12.5	25.0	18.8	18.8	6.3	31.3	6.3	6.3	-	-	-

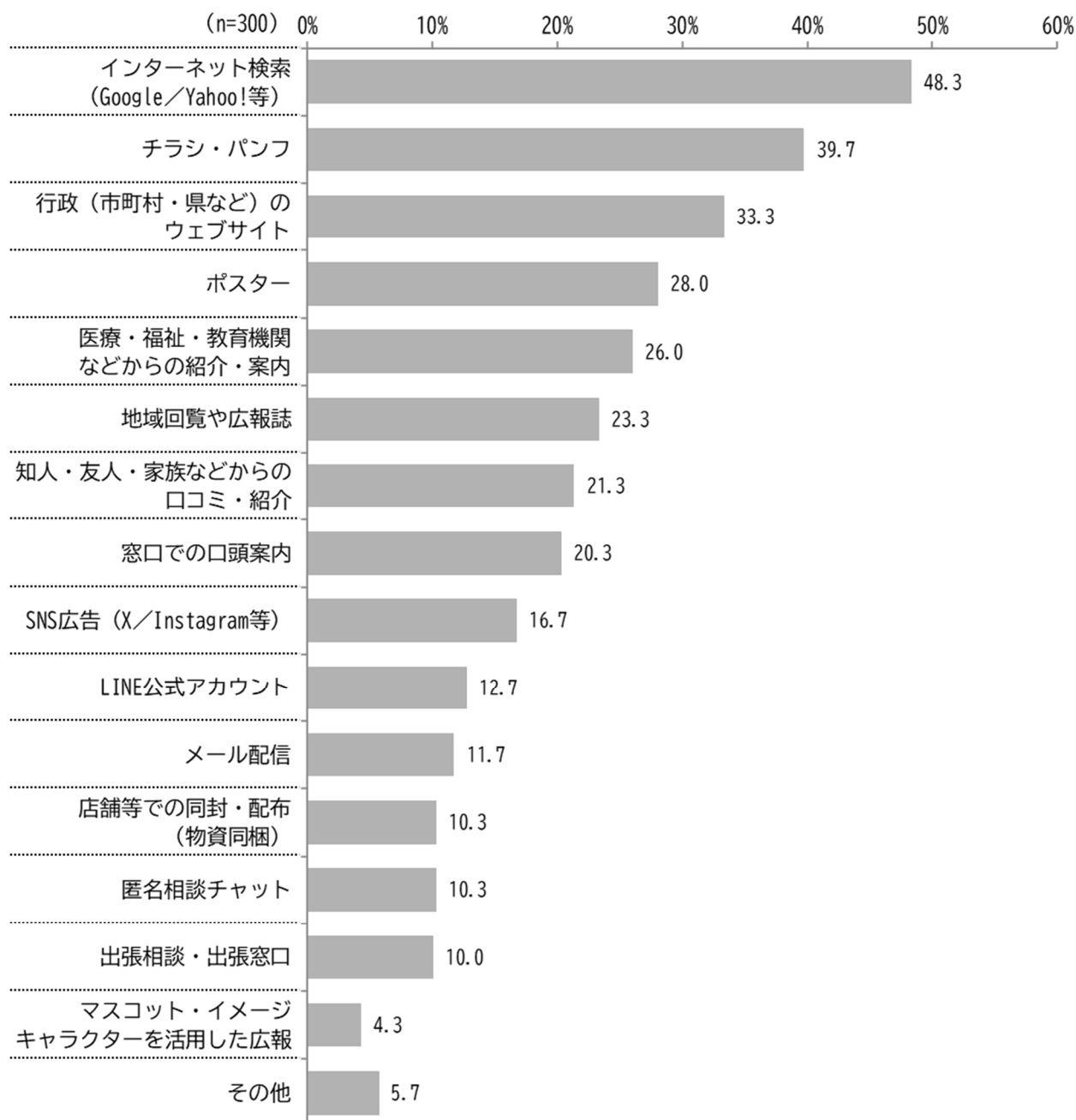
		レシート広告	マスクコートを活用した広報	その他
合 計		1.0	0.3	10.3
性別	男性	1.7	0.6	10.5
	女性	-	-	9.5
	その他	-	-	-
	答えない	-	-	33.3
年代	20歳未満	-	-	-
	20～29歳	-	-	-
	30～39歳	-	-	6.4
	40～49歳	1.3	-	11.7
	50～59歳	1.0	1.0	11.2
	60～69歳	1.9	-	11.3
	70歳以上	-	-	12.5

- 「チラシ・ポスターの掲示」が男性 33.7%に対し女性 44.8%、「パンフレット・リーフレットの設置」が男性 17.1%に対し女性 23.3%と、いずれも女性の割合が男性を上回っている。一方で、男性は「WEB広告(SNS、検索連動型、バナーなど)」が 25.4%と女性(18.1%)より高く、デジタル媒体によるプッシュ型の情報提供を好む傾向がうかがえる。
- 年代別では、60代は「パンフレット・リーフレットの設置(28.3%)」や「広報誌への掲載(28.3%)」が他の年代と比較して高く、紙媒体や地域の既存メディアを通じた周知が一定程度有効である傾向がみられる。

(20) 有効だと思う情報提供手段……………

問 17. あなたが支援につながる際に、有効だと思う情報提供の手段はどれですか。(いくつでも)

図表 30 有効だと思う情報提供手段(単純集計)



- 全体では、「インターネット検索(Google/Yahoo!等)」が 48.3%で最も多く、次いで「チラシ・パンフ」が 39.7%、「行政(市町村・県など)のウェブサイト」が 33.3%となっている。

図表 31 有効だと思う情報提供手段(クロス集計)

		(%)												
		インターネット検索（Google／Yahoo!等）	チラシ・パンフ	行政（市町村・県など）のウェブサイトを	ポスター	医療・福祉・教育機関などからの紹介・案内	地域回覧や広報誌	知人・友人・家族などからの口コミ・紹介	窓口での口頭案内	SNS広告（X／Instagram等）	LINE公式アカウント	メール配信	店舗等での同封・配布（物資同梱）	匿名相談チャット
合 計		48.3	39.7	33.3	28.0	26.0	23.3	21.3	20.3	16.7	12.7	11.7	10.3	10.3
性別	男性	49.2	33.7	31.5	26.0	26.0	21.0	17.1	19.9	14.9	10.5	11.6	7.7	8.3
	女性	48.3	49.1	37.1	31.0	26.7	27.6	27.6	20.7	19.8	16.4	12.1	14.7	12.1
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	答えない	-	33.3	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	66.7
年代	20歳未満	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	20～29歳	57.1	28.6	42.9	28.6	14.3	-	28.6	14.3	85.7	57.1	-	14.3	-
	30～39歳	57.4	40.4	34.0	21.3	25.5	17.0	21.3	27.7	27.7	17.0	6.4	10.6	8.5
	40～49歳	54.5	42.9	29.9	29.9	27.3	19.5	26.0	19.5	22.1	15.6	16.9	16.9	18.2
	50～59歳	42.9	40.8	30.6	33.7	26.5	24.5	14.3	21.4	8.2	8.2	9.2	8.2	7.1
	60～69歳	45.3	35.8	37.7	24.5	28.3	37.7	26.4	15.1	11.3	9.4	9.4	5.7	5.7
	70歳以上	31.3	31.3	50.0	18.8	18.8	18.8	25.0	18.8	-	-	31.3	6.3	18.8

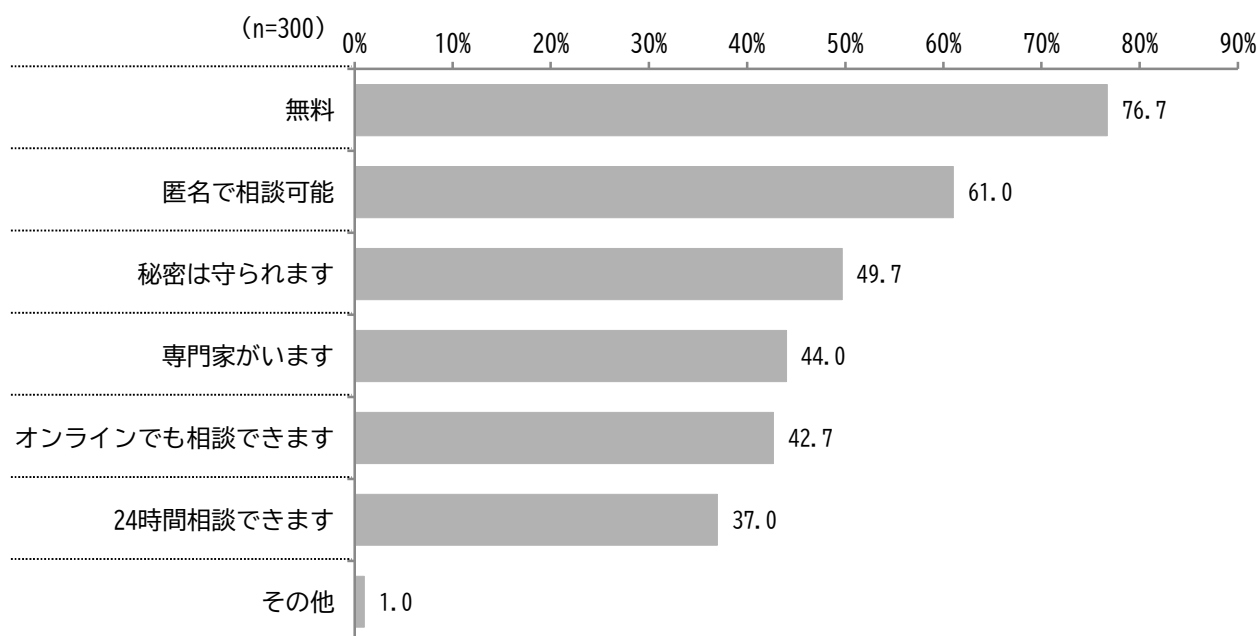
		出張相談・出張窓口	マスクコートを活用した広報	その他
合 計		10.0	4.3	5.7
性別	男性	9.4	3.9	6.6
	女性	10.3	5.2	4.3
	その他	-	-	-
	答えない	33.3	-	-
年代	20歳未満	-	-	-
	20～29歳	-	-	-
	30～39歳	10.6	4.3	8.5
	40～49歳	14.3	7.8	5.2
	50～59歳	7.1	3.1	7.1
	60～69歳	7.5	3.8	1.9
	70歳以上	18.8	-	6.3

- 「インターネット検索」が男性 49.2%、女性 48.3%といずれも約 5 割に達しており、男女ともに評価されている。一方で、女性は「チラシ・パンフ(49.1%)」や「行政ウェブサイト(37.1%)」、「地域回覧や広報誌(27.6%)」、「知人・友人・家族などからの口コミ・紹介(27.6%)」が男性を大きく上回っており、公式情報や身近なネットワークを重視する傾向がうかがえる。
- 年代別では、20 代から 40 代では「インターネット検索」が 5 割を超えているが、年代が上がるにつれてその割合は低下し、70 歳以上(31.3%)では「行政ウェブサイト(50.0%)」が最も信頼される媒体となっている。また、20 代では「SNS 広告(85.7%)」や「LINE 公式アカウント(57.1%)」への信頼が高く、若年層へのアプローチには SNS 等のデジタル媒体が有効である傾向がみられる。

(21) 相談しやすいと感じる行政メッセージの内容.....

問 18. 行政からの情報提供があった際に、どのようなメッセージがあれば相談しやすいでしょうか。(いくつでも)

図表 32 相談しやすいと感じる行政メッセージの内容(単純集計)



- 全体では、「無料」が 76.7%で最も多く、次いで「匿名で相談可能」が 61.0%、「秘密は守られます」が 49.7%となっている。

図表 33 相談しやすいと感じる行政メッセージの内容(クロス集計)

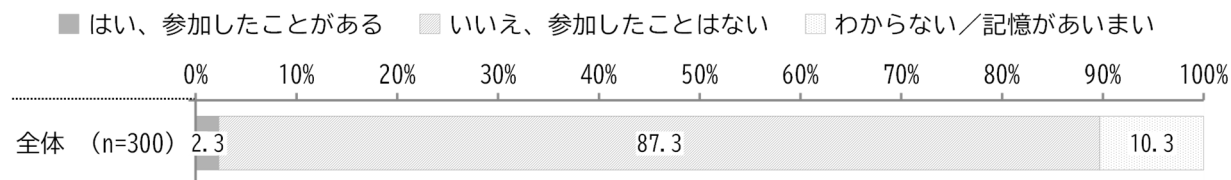
		(%)						
		無料	匿名で相談可能	秘密は守られます	専門家がいます	オンラインでも相談できます	24時間相談できます	その他
合 計		76.7	61.0	49.7	44.0	42.7	37.0	1.0
性別	男性	72.4	59.7	49.2	42.5	42.5	34.3	0.6
	女性	82.8	63.8	50.9	46.6	44.0	41.4	1.7
	その他	-	-	-	-	-	-	-
	答えない	100.0	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-
年代	20歳未満	100.0	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	100.0	57.1	57.1	57.1	28.6	42.9	-
	30～39歳	78.7	68.1	51.1	34.0	53.2	44.7	2.1
	40～49歳	75.3	54.5	40.3	44.2	40.3	44.2	-
	50～59歳	75.5	64.3	54.1	46.9	40.8	38.8	2.0
	60～69歳	83.0	62.3	52.8	45.3	45.3	24.5	-
	70歳以上	50.0	56.3	56.3	50.0	37.5	12.5	-

- 「無料」であることは男女ともに最も重視されており、女性(82.8%)が男性(72.4%)を上回っている。次いで「匿名で相談可能」、「秘密は守られます」がいずれも約半数から 6 割に達しており、プライバシーの保護が相談の前提条件となっている傾向がうかがえる。
- 年代別では、30 代未満において「無料」が 100.0%となっており、若年層では経済的負担がないことを重視する傾向がみられる。また、30 代(53.2%)や 40 代(40.3%)では「オンラインでも相談できます」の割合が高く、時間や場所を選ばない相談方法が求められている。

(22) おきなわ女性財団主催の講座・セミナー参加状況

問 19. あなたは、次のような「おきなわ女性財団(ているる)」が実施する講座やセミナーに参加したことがありますか。(例:「ているる塾」「女性のためのキャリア講座」「起業・就労支援セミナー」「女性のエンパワーメントに関する講演会」など)

図表 34 おきなわ女性財団主催の講座・セミナー参加状況

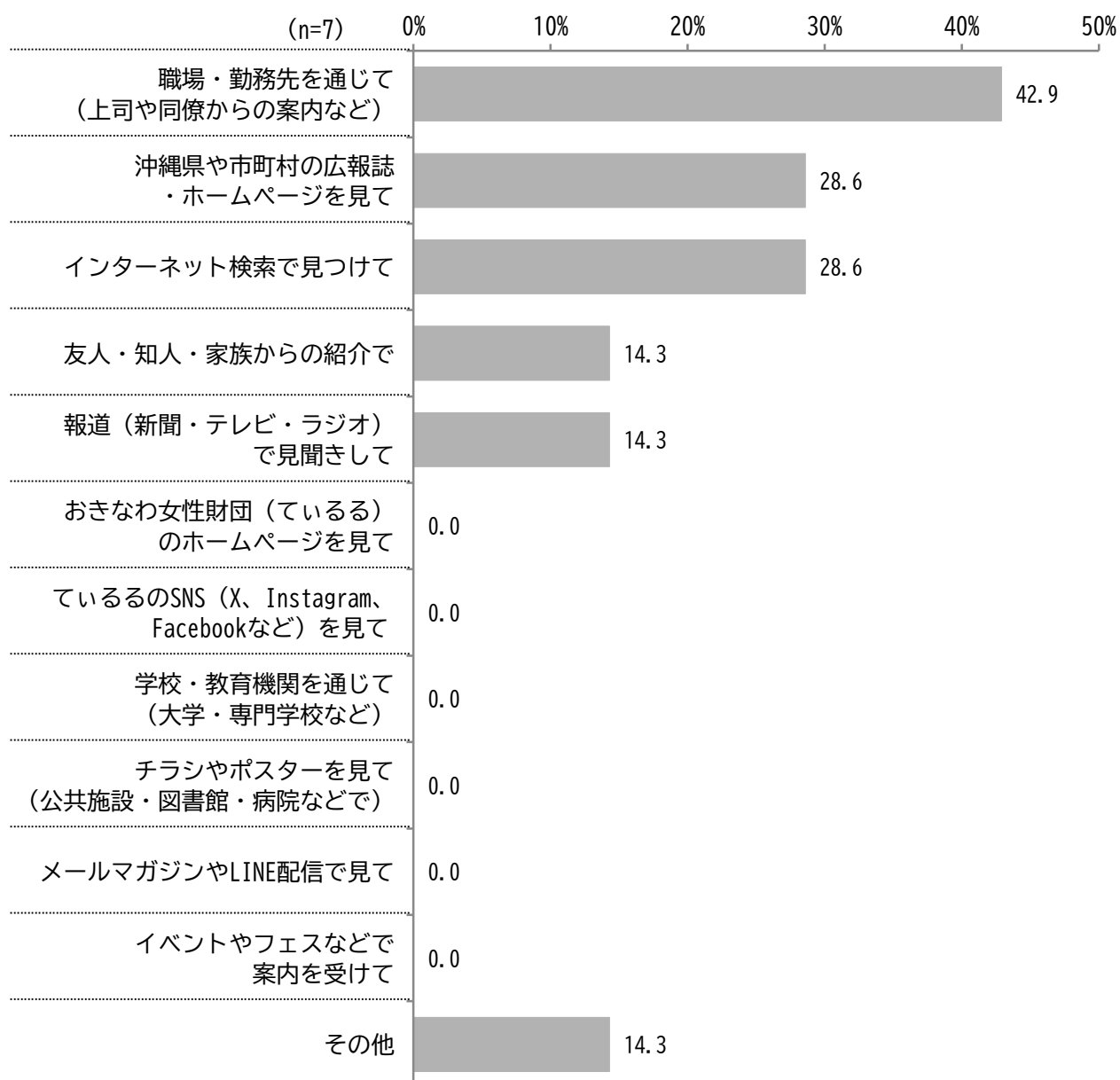


- 全体では、「いいえ、参加したことはない」が 87.3%で最も多く、次いで「わからない／記憶があいまい」が 10.3%、「はい、参加したことがある」が 2.3%となっている。

(23) 講座・セミナーを知ったきっかけ

問 20. その講座やセミナーを「知ったきっかけ」について、あてはまるものをすべてお選びください。
(いくつでも)

図表 35 講座・セミナーを知ったきっかけ

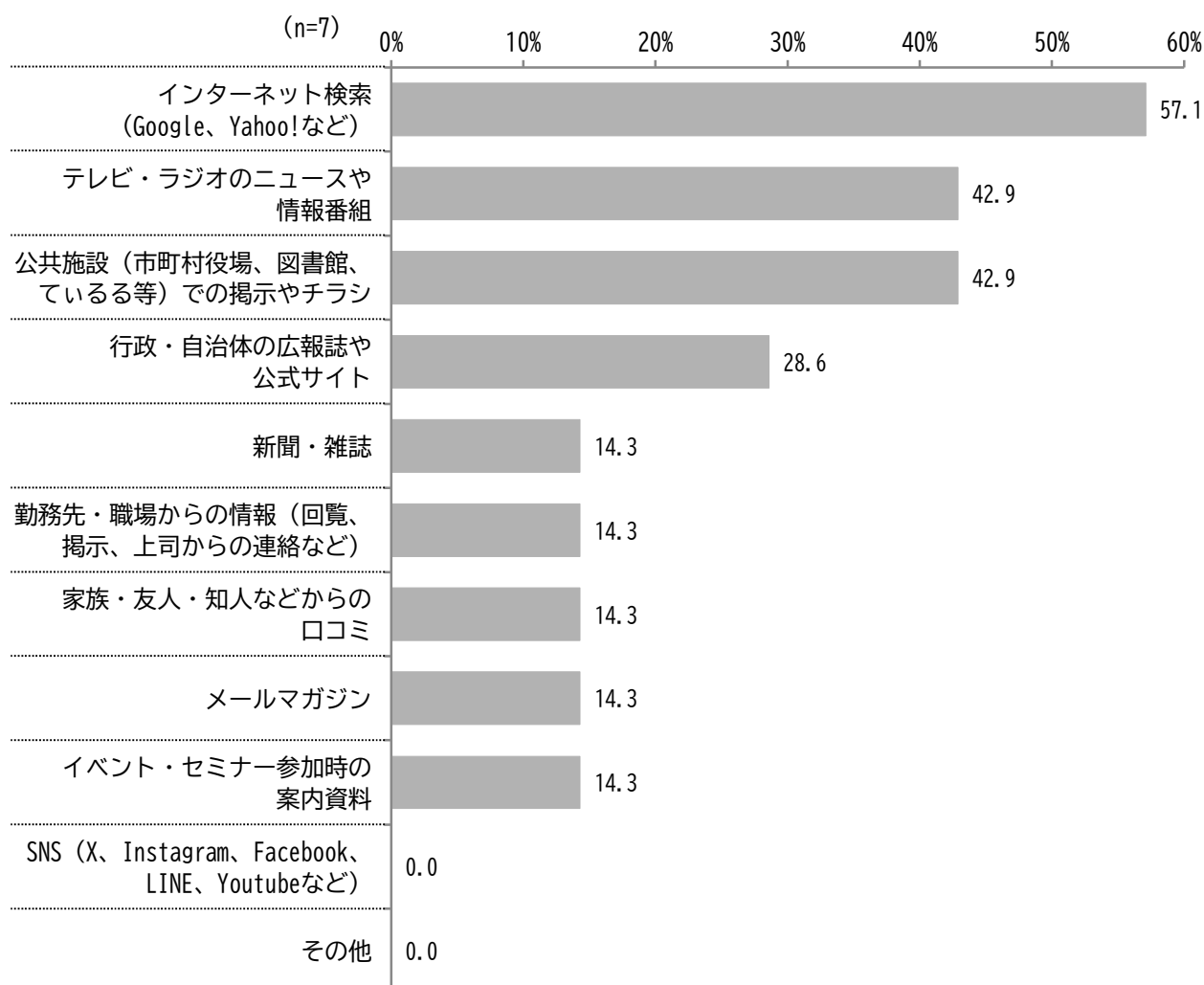


- 全体では、「職場・勤務先を通じて(上司や同僚からの案内など)」が 42.9%で最も多く、次いで「沖縄県や市町村の広報誌・ホームページを見て」「インターネット検索で見つけて」が 28.6%、「友人・知人・家族からの紹介で」「報道(新聞・テレビ・ラジオ)で見聞きして」が 14.3%となっている。

(24) 仕事・キャリア・学び・地域活動に関する情報の入手手段

問 21. あなたは、仕事およびキャリア、学び、地域活動などに関する情報を普段どのような手段で得ていますか。(いくつでも)

図表 36 仕事・キャリア・学び・地域活動に関する情報の入手手段

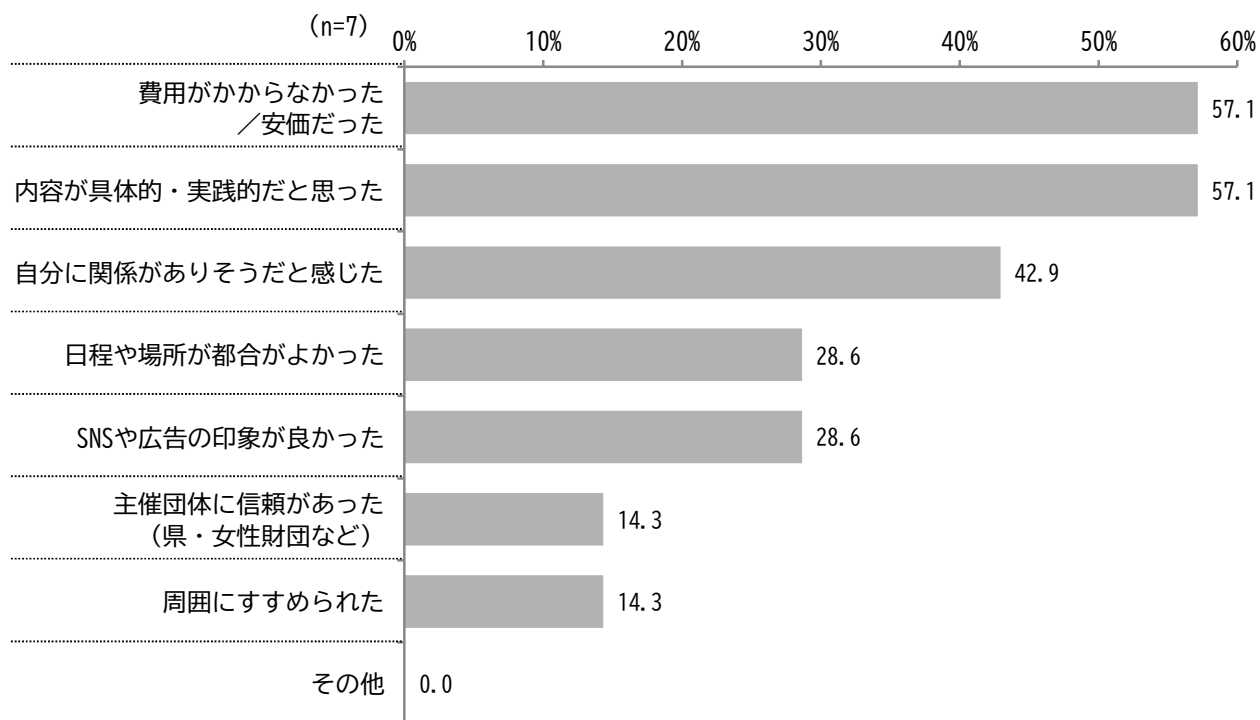


- 全体では、「インターネット検索 (Google、Yahoo! など)」が 57.1% で最も多く、次いで「テレビ・ラジオのニュースや情報番組」「公共施設 (市町村役場、図書館、ていりる等) での掲示やチラシ」が 42.9%、「行政・自治体の広報誌や公式サイト」が 28.6% となっている。

(25) 講座・セミナー参加のきっかけ.....

問 22. 講座やセミナーに参加しようと思ったきっかけとして、近いものをお選びください。(いくつでも)

図表 37 講座・セミナー参加のきっかけ



- 全体では、「費用がかからなかった／安価だった」「内容が具体的・実践的だった」が 57.1%で最も多く、次いで「自分に関係がありそうだと感じた」が 42.9%、「日程や場所が都合がよかった」「SNSや広告の印象が良かった」が 28.6%となっている。

